

Broaden your horizons ～さあ、視野を広げて!～

絹糸を産生するカイコに新型コロナウイルスの遺伝子情報を注入すると、ウイルス表面にあるSタンパク質が生成される。これを摂取すると免疫ができ、本物のウイルスが入ってきてもブロックできるワクチンとなる——。先日、こう発表したのは、九州大学とベンチャー企業「KAICO」です。今後はマウス実験から臨床試験（治験）に移行していくそうです。

ワクチン登場は人類の悲願のため動向が気になりますが、記事をよく読むと、「カイコのまま食べるワクチンの開発を視野に入れる」とありました。「食べるってカイコを?」。カイコからSタンパク質を抽出して注射すると勝手に思っていたので驚きました。これは食べることができるのか、という別問題も出てきそうです。

今、食用コオロギが良質のたんぱく質であるため、スーパーフードとして注目されています。去年、私もコオロギを食べる機会がありましたが、少し涙が出ました。そして、今年から無印良品がコオロギせんべいを発売。次はカイコの出番なのでしょうか。

私は2007年からカンボジアの医療支援を行っていますが、現地に行くと、お惣菜のように虫が売られています。日本では虫食文化が定着していないため、食べるのには抵抗がありました。できることなら、虫とは付かず離れずの距離感を希望します。

メディセレスクール ファウンダー 児島 恵美子